

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	事前・事後指導					授業形態	実習		
科目コード	421110	単位数	1単位	配当学年	3~4年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	岩田 賢士								
授業概要	<p>教育実習は、大学における教育課程の集大成として実施されるものである。今まで学んできた専門的教科や教職課程における教科・科目を通して身に付けた知識・技術や教師として必要な資質を、教育現場で実践し統合する最初の機会である。</p> <p>教育現場では、学習指導・生徒指導・特別活動・クラス経営・部活動・校務分掌等と教員の仕事は多岐に亘るため、事前指導においては、これらの内容について熟知し周到な準備をすることが重要で、特に教育実習生にとって負担の大きい学習指導要案作成、研究授業に向けた準備を重視している。また、事後指導としては、教育実習を振り返り、教員としての自分の資質を反省し改善点を探求し、将来の教師像につなげる物とする。</p> <p>35年間の高校教員としての実践経験を生かし、学生に適切な助言・指導を実施する。</p>								
関連する科目	教育実習・中等教科教育法（農業・理科）・特別活動論等の上に実践する。								
授業の進め方 と方法	○一斉授業・・・各講義資料を使って授業を進める。状況に応じてディスカッションをする。○体験談発表・・・先輩の教育実習経験談を聴く。○模範授業・・・自分自身の模擬授業の実施、先輩もしくは同級生の代表による模擬授業の実施。 ※一年半の期間を活用して、教育実習に行く前の準備、教育実習に行つての反省を行い、教師としての資質を向上させる。								
授業計画 【第1回】	1 3年生後期 1. オリエンテーション 教育実習の意義と心構えについて知る								
授業計画 【第2回】	2. 教育実習の内容について 教育実習に行った際に、どのような内容を実践するのかを知る								
授業計画 【第3回】	3. 教育実習日誌について 教育実習日誌の重要性とその記載方法を知る								
授業計画 【第4回】	4. お礼状の書き方 教育実習でお世話になったお礼として、お礼状の書き方を知る。（書式・内容等）								
授業計画 【第5回】	5. 事例研究 伝達講習会に参加。4年生の体験談をグループワークを通して知る。								
授業計画 【第6回】	6. 模範授業 4年生の模範授業を参観し、授業の在り方について考える。								
授業計画 【第7回】	7. 模擬授業① 3年生の中で代表者による模擬授業の実践 その1 （黒板だけを使った授業形態）								
授業計画 【第8回】	8. 模擬授業② 3年生の中で代表者による模擬授業の実践 その2 （黒板と模造紙等を活用した授業形態）								
授業計画 【第9回】	9. 模擬授業③ 3年生の中で代表者による模擬授業の実践 その3 （ICTを活用した授業形態）								
授業計画 【第10回】	10. 模擬授業と学習指導案 模擬授業に使った学習指導案を基に、指導案の書き方について検討する。								
授業計画 【第11回】	2 4年生前期 11. 教育実習に望んで① 学習指導案と指導教科のことについてその趣旨や内容について再度確認をする								

授業計画 【第12回】	1 2. 教育実習に望んで② 学習指導と評価の一体化について再度確認をする。
授業計画 【第13回】	1 3. 教育実習に望んで③ 直前に迫った教育実習への心構えやマナー、さらに感染症等疾病に関する対策などについて再確認をする。
授業計画 【第14回】	3 4 年生後期 1 4. 教育実習の反省 各人が経験した教育実習内容を、各人が皆（4年生）の前で発表し、教育実習を振り返る。
授業計画 【第15回】	1 5. まとめ 1つは3年生に自分が経験した教育実習内容を伝達するために用いる。2つ目に内容を整理し自己の実践記録集とする。
授業の到達目標	1. 3年生後期 ・来年度に迫った教育実習に対する心構えを構築すると共に、それに向けての諸準備ができる。 2. 4年生前期 ・教育実習直前として、教育実習生としての具体的な心構えや振る舞いができる。 ・学習指導案・教育実習日誌の作成・記載がきちんとできる。 ・社会人としての挨拶・学校並びに先生方に対する礼状が書ける。 3. 4年生後期 ・自分の教育実習を反省し、将来の教員として何が必要かを考えることができる。 ・自分の体験談を後輩に分かり易く伝えることができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習に備えて日頃から時間厳守・提出物の厳守・言葉遣い・服装容儀・礼儀作法等を意識して生活する。 ・規則正しい生活を送ることを心掛け、社会人としての社会生活に支障がないようにしておく。 ・教育実習に行った際に困らないように、今まで学んだ教養・教職・専門科目の復習をしておく。 ・長期休業中を利用して、教育実習校に挨拶に行ったり、電話・手紙等を活用し教育実習に必要なことを調整しておく。 ・お礼状を書くための文章事例を調べておく。 ・教育実習体験談発表で、後輩に何を伝えるべきか、しっかりと整理をしておく。 ○上記の内容について15時間の学習を行う。 ・模擬授業の練習等を時間外に実践する。（5時間）
授業時間外の学修 【復習】	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習を振り返り、反省点をまとめ整理する。 ・教員になった時の心構えを身に付ける。 ・お世話になった先生方にお礼状を出す。 ・教育実習伝達講習会等で後輩に伝えるべき内容をまとめておく。 ○上記の内容について10時間の学習を行う。
課題に対する フィードバック	○提出レポートの評価 ○教育実習との対比 ○模擬授業でのコメント
評価方法・基準	<p>①平常点・・・出席の状況や授業中の態度等 ②レポート点・・・課題レポートの提出状況や内容評価 ③発表点・・・各発表の内容・発表態度</p> <p>※この科目の成績は教育実習の成績に加味される</p>
テキスト	講義毎に作成した資料 教育実習日誌(南九州大学)
参考書	文部科学省「中学・高等学校学習指導要領」
備考	